

甲斐の うまい水だより

甲斐市上水道課 ● 甲斐市篠原2534番地1
電話 ● 055 (276) 0734 FAX ● 055 (276) 2177

No.
18

2017.12

水道管に 冬支度を

寒くなると、水道管が凍結し、水が出なくなったり、水道管が破裂したりすることがあります。宅内の水道管はお客様個人の所有物であるため、破損してしまうと修理費用を負担しなければならず、何よりも水が出なく不便が生じます。水道管にも冬仕度をして凍結事故を防ぎましょう。

こんな時には凍結注意

- 外気温がマイナス4度以下になるとき。
- 旅行などで家を留守にするなど、長期間水道を使用しないとき。
- 一日中、外気温が氷点下の「真冬日」が続くとき。

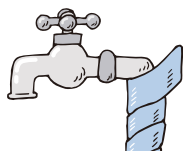
水道管の凍結を防ぐには

水を出しておく

- 翌朝、特に冷え込みが予想される時は、前夜から箸の太さくらいに水を出しておくとう有効です。

保温する

- 水道管や蛇口の部分を身近にある布切れや毛布などで濡れないように保温してください。
- メーターボックス内にあるメーターの上下左右を濡れないようにビニール袋などに入れた保温材で保温してください。



水抜きをする

- 寝る前や家を留守にする場合、不凍栓（水抜栓）による水道管内の水抜きが効果的です。不凍栓はメーターボックス付近に設置されています。ご家庭によっては、外水道に不凍栓バルブがついている場合もあります。外水道の水抜きだけであれば、そちらをお使いください。バルブを右いっぱい回し、蛇口を開けると、

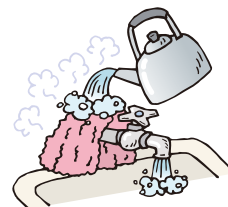
管内の水が抜けますので、水が出なくなったら蛇口を閉めてください。水抜きした蛇口を使用する際は、不凍栓バルブを左いっぱい回してから使用してください。通水後、最初に水を出す際は、水が勢い良く出ますので少しずつ蛇口を回して出してください。お願いします。（不凍栓バルブは、開・閉とも止まるまで回さないと漏水する恐れがあります。）



不凍栓(左)とメーターボックス(右)

凍結して水が出ない時は

- 凍った部分にタオルや布をかぶせて、ぬるま湯をゆっくりかけて溶かしましょう。急に熱湯をかけたりすると、ひび割れや破裂することがあります。



破裂してしまった時は

- 水道管や蛇口が破裂した時は、不凍栓を閉めて、破裂箇所に布かテープをしっかりと巻きつけ応急手当てをした後、最寄りの市指定給水装置工事業者（甲斐市ホームページに一覧表掲載）に、不明な場合は甲斐市役所（上水道課）（Tel. 055-276-0734）にお問い合わせください。

貯水槽水道の適正管理を

貯水槽水道とは、建物などで使用する水道水を一度受水槽に貯めてから、各家庭や事務所などに給水する水道設備のことで、法令等に基づき、設置者に適正な管理が求められます。受水槽を設置しているビルやマンションの所有者（設置者）は、受水槽の適切な維持管理をお願いします。



平成28年度の決算をお知らせします

平成28年度水道事業決算状況

水道事業会計には、「収益的収支」と「資本的収支」という二つの枠組みがあります。

収益的収支は、1年間の営業活動に関する収入と支出です。皆さんからの水道料金などの収入と水道施設の維持管理などのために要した支出となっています。

資本的収支は、水道施設などを造るための収入と支出です。新たに水道を引く場合など、皆さんに納めていただいた加入金などの収入と水道施設の建設・改良に要した支出となっています。

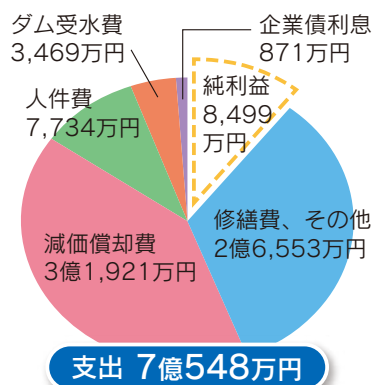
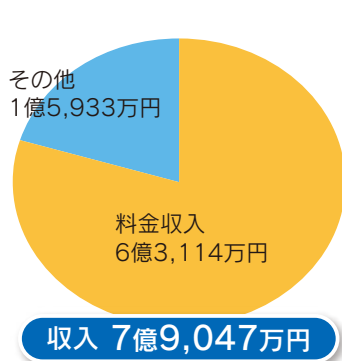
収益的収支（※消費税抜き）

1年間の営業活動に関する収入と支出

水道料金収入（給水収益）は、大口需要企業の撤退や市民の節水意識の定着、生活様式の変化が影響し、平成27年度に比べて、約5,645万円減少しました。

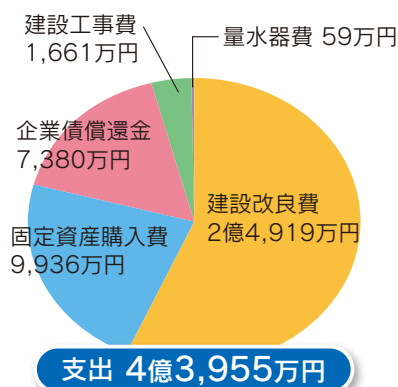
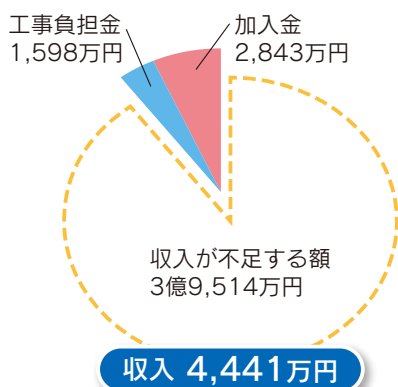
支出については、水道施設の維持管理費用や人件費が主になり、収入から支出を差し引いた約8,499万円が純利益となりました。

利益は、資本的収支の収入不足分等に備えて積み立てられます。



資本的収支（※消費税込み）

水道施設などを造るための収入と支出



支出としては、配水管や水道施設の整備費用（建設改良費・固定資産購入費・建設工事費）が主であり、収入から支出を差し引いた不足額（3億9,514万円）は、建設改良積立金や現金支出を伴わない減価償却費などの補てん財源を充てています。

平成28年度に実施した主な事業

- 基幹管路耐震化工事…950.79m施工
- 老朽配水管布設替工事…2,190.5m施工
- 新配水管布設工事…516.5m施工
- その他、配水場配水ポンプ更新工事、配水池補修工事等を行いました。

上記のとおり、水道管を新設する（布設）工事よりも、古くなった管を取り替える（布設替）工事が多くなってきています。水道管の多くが、高度経済成長期に作られたものであるため、布設替工事は今後ますます増えていくことになります。水道事務所では、これらに当てる費用を、限られた収益の中で賄っていかなければならない状況です。

給水状況

	平成28年度	平成27年度	比較
給水人口	55,115人	54,889人	226人増
有収水量※	5,934千 ³ m	5,966千 ³ m	32千 ³ m減

※有収水量…水道料金徴収の対象となった水量

